

1 (別紙様式)

平成28年度学校自己評価システムシート (県立松山高等学校)

目指す学校像 建学以来の伝統である「文武不岐」に基づき、幅広い教養と礼節を備え、社会に貢献できる品格あるリーダーを育成する。

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	<p>1 「チーム松高」としての組織的指導力に基づき、生徒の学力向上に努め、進学実績を一層向上させる。 特にSSH研究開発実施計画の円滑な実施を通して、学校の更なる発展・活性化を目指す。</p> <p>2 自己の在り方生き方を常に考えさせ、心身ともにたくましい、常に挑戦者たる生徒を育てる。</p> <p>3 本校の良さを積極的に発信し、保護者、地域の小中学校や住民、同窓会との「絆」を深め、地域から一層信頼される学校づくりを進める。</p>
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	4名
	生徒	1名
	事務局(教職員)	5名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成 目標を意味する。)は複数設定可。 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価 (1月20日現在)		
年度目標					年度評価		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への 課題と改善策	
1	入学当初はほとんどの生徒が国立大学や難関私立大学への進学を希望している。一方、学年が上がるにつれて、第一志望への挑戦をあきらめてしまう生徒も多い。「チーム松高」としての組織的な進路指導体制により、早い段階からの充実した進路指導の実施や質の高い授業の実施、補習体制の充実を図っていくことで、高い志に挑戦し続ける態度を育成することが必要である。	第一志望実現に挑戦し続ける生徒の育成・進学実績の向上	<p>①1年次からの進路指導の充実(進路ガイダンス、学習オリエンテーション等の実施)</p> <p>②模試の分析結果の活用や面談の実施等、生徒一人一人に応じた進路指導の実施</p> <p>③進学補習「松高塾」の量的増加と質的向上</p> <p>④「学校進学力パートナーシップ推進事業」を活用した生徒による授業評価・学校間交流を実施</p> <p>⑤保護者対象の進路行事(研修会、大学見学会等)の実施による意識啓発</p> <p>⑥今年度から隔週で土曜授業を実施</p> <p>⑦校内ビブリオバトルの実施による読書活動の推進</p> <p>⑧学校間ネットワークを通じた学び合いの実施</p>	<p>①第一志望をあきらめない生徒の割合が昨年度より増加したか。</p> <p>②国立大学合格40人(3割以上増)、難関私立大学(早慶上理GMARCH)合格105人(3割以上増)を達成できたか。</p> <p>③進学補習「松高塾」が質的・量的に向上したか(前期、後期、長期休業中)</p> <p>④生徒による授業評価が向上したか。授業公開等の学校間交流を実施し授業改善につながったか。</p> <p>⑤保護者の進路意識が向上したか。</p> <p>⑥土曜授業が効果的に実施できたか。</p> <p>⑦ビブリオバトル参加者数が増加したか。</p> <p>⑧学び合いの成果を校内にフィードバックできたか。</p>	<p>【第一志望に挑戦し続ける生徒の育成・進学実績の向上】</p> <p>①H28年4/10現在国立希望者→1年179人、2年145人(H27:173人)、3年81人(H27:139人、H26:201人)</p> <p>②国立大1人合格、難関私立29人合格(1/20現在)</p> <p>③毎月曜7限補習を新たに実施、前期松高塾16講座(昨年19)、夏期松高塾49講座(昨年47)、後期松高塾22講座(昨年23)</p> <p>④生徒の平均授業満足度5段階で4(昨年4)。11月に新たに全県の高校を対象に公開研究授業を開催</p> <p>⑤保護者対象の進路説明会、進路路研修会及び大学見学会を実施 大学見学会への参加人数が少なかった。</p> <p>⑥今年度から土曜授業を隔週で実施。公欠が多いのが課題</p> <p>⑦今年度から1学年全員で実施(昨年度は希望者のみ)</p> <p>⑧他校を訪問した教諭から結果を職会でフィードバック</p>	B	<p>・進学実績の向上</p> <p>・土曜授業日と部活動の大会日程が重なることへの対応等</p> <p>・アクティブラーニングを取り入れた指導方法等の研究等、授業改善への取組</p>
		SSH研究開発の実施と学力向上の取組	<p>①SSH計画書に基づく方策の実施</p> <p>②新たに生徒の海外研修を実施</p> <p>③「SS科学探究」及び「SS科学英語」のコラボによる英語発表会の実施</p> <p>④H29年度からのSSH指定獲得に向けた取組</p>	<p>①大学や研究機関等と連携した体験活動や出前授業を10回以上実施できたか。</p> <p>②海外研修への応募生徒数が15人を超えたか。</p> <p>③英語で相手に伝わる発表会が実施できたか。</p> <p>④文科省からH29からのSSH指定を受けることができたか。</p>	<p>【SSH研究開発の実施と学力向上の取組】</p> <p>①研究室訪問や大学教授等による講義等を13回実施</p> <p>②海外研修への応募生徒数23人応募15人を派遣</p> <p>③他校生も参加し運営指導委員から高い評価を得た。</p> <p>④現在申請中(1/20現在)</p>	A	<p>・SSHの継続指定に向けた取組内容の充実</p>
2	多くの生徒が基本的な生活習慣を確立しており3年間皆勤も多い。来校者や教職員への挨拶もよく行われている。一方、登下校時の交通マナーについては課題がある。部活動では、3年生になっても約9割の生徒が加入している。また、県の上位はもとより全国一を目指す生徒が多い。	日頃の生徒指導や部活動、生徒会活動、学校行事を通じた心身ともにたくましい生徒の育成	<p>①全体指導及び個別指導による規範意識の確立</p> <p>②自転車や徒歩で通学する生徒の交通マナーの向上</p> <p>③安心、安全な学校生活の保障</p> <p>④支援を必要とする生徒相談体制の充実</p> <p>⑤生徒会行事の内容の充実及びボランティア活動等への積極的な取組</p> <p>⑥一層緻密な部活動指導体制の確立</p>	<p>①整容指導の実施(3回以上)と個別指導で規範意識が向上したか。</p> <p>②全教員による登校指導(10回)により交通マナーが向上したか。</p> <p>③いじめ・問題行動が発生した場合、100%解消できたか。</p> <p>④生徒相談委員会を定期的に実施するとともに、スクールカウンセラーを効果的に活用できたか。</p> <p>⑤生徒主体による学校行事やボランティア活動の取組が充実したか。</p> <p>⑥全国レベルや関東レベルの大会へ10以上の部活動が出場できたか。</p>	<p>【生徒指導や部活動指導等を通じたたくましい生徒の育成】</p> <p>①全校集会の際に整容指導を3回実施</p> <p>②全教員による登校指導を10回実施</p> <p>③いじめアンケート2回実施。いじめが疑われる事案が6件発生し、2件解消、1件継続指導中、3件いじめに該当せず</p> <p>④生徒相談委員会を毎月開催 同窓会の支援によるSCを配置し年14回の相談会を実施し延べ77人が活用(3/14現在)</p> <p>⑤生徒会中心に熊本地震募金活動を東松山駅で1週間実施、松山女子と合同で駅前清掃活動を実施、スリデーマチのブース運営補助、松一小での夏休み学習指導補助</p> <p>⑥全国大会に5部活動が出場、関東大会に5部活動が出場</p>	A	<p>・全教員による指導体制の継続</p> <p>・特別な支援を必要とする生徒への的確な対応</p> <p>・部活動指導体制の維持</p>
		積極的な情報発信はもとより、保護者や地域の小中学校、東松山市、同窓会と積極的に連携を図るとともに、生徒募集にも力を入れる。	<p>①学校の教育活動の効果的な情報発信</p> <p>②地元小中学校との連携</p> <p>③東松山市との連携</p> <p>④PTA・後援会や同窓会との連携</p> <p>⑤学校説明会や個別相談会、体験授業の充実</p> <p>⑥塾訪問や塾主催の説明会の積極的な参加</p> <p>⑦入試倍率の向上</p>	<p>①ホームページの更新を毎授業日行ったか。</p> <p>②小中学校との連携行事や中学校へのPR活動を積極的に行ったか。</p> <p>③東松山市主催の行事に積極的に参加したか。</p> <p>④PTA・後援会や同窓会と緊密に連携できたか。</p> <p>⑤学校説明会等への参加者が増加したか。</p> <p>⑥市町村や塾等が主催する進学説明会へ積極的に出席したか。</p> <p>⑦入試倍率が向上したか。</p>	<p>【積極的な情報発信、地域等との連携、生徒募集】</p> <p>①授業日はほぼ毎日更新した。理数科や部活動のページも更新</p> <p>②松山中2年生68人北中3年生70人に体験授業実施。松山東中、南中、白山中で学校説明実施。松一小6年生91人に理科教室、夏季休業中に水泳指導実施。</p> <p>③スリデーマチ、愛の一声運動、ごみゼロ運動清掃活動、ふれあいバネグ、特産品フェスタ、まちゼミ等で協力</p> <p>④支部別PTAを13会場で開催、進路指導部とPTA共催で進路説明会、大学見学会、進路研修会等を実施</p> <p>同窓会からSSH海外研修、成績向上者表彰、部活動奨励、SC相談等で支援をいただいた。</p> <p>⑤学校説明会を3回実施799組参加(昨年4回延べ1,062組)</p> <p>⑥塾等から依頼された進学説明会へは全て出席(20回)</p> <p>⑦普通科1.15倍(昨年1.26倍) 理数科1.83倍(昨年2.15倍)</p>	A	<p>・本校の魅力を効果的に発信するための工夫</p> <p>・子供の数が減少する中での生徒募集方法の工夫</p> <p>・PTAや同窓会との緊密な連携体制の維持</p>

学校関係者評価
実施日 平成29年2月7日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>・土曜授業日の教員の出張による自習は、できるだけ少なくしていただきたい。</p> <p>・土曜授業をよいと思っている生徒は少ないようだが、継続的に実施することで、気づかないうちに学力が付くのではないか。</p> <p>・SSH生徒研究発表会のプレゼンテーションは素晴らしい。この取組を普通科にも広げていただきたい。</p> <p>・生徒会のボランティア等は地域へのPRにもなるよい取組である。</p> <p>・部活動指導は、専門的指導ができる外部指導者の導入など、全ての部活動が上位を目指す環境を作っていたいただきたい。</p>